

B-1 「グローバル社会へのパスポート」

(1) 科目の紹介

基本情報	平成 26 年度・教養教育・前期			曜日・校時	金 3 限	
モジュール名	グローバル社会へのパスポート			科目名	異文化接触とコミュニケーション	
教員名（所属）	永井 智香子（国際リエゾン機構）				教室	A-43
選択者数	58 名	2 年生の所属学部	教育学部	経済学部	薬学部	水産学部
再履修数	2 名		(9 名)	(42 名)	(5 名)	(2 名)
授業のねらい：	<p>"普段何気なく使っている日本語を客観的にみる。日本語教育に興味がある人に履修してもらいたい。"</p>					
アクティブラーニングに向けて工夫した点：基本的には『新はじめての日本語教育 1』というテキストにそつて授業をすすめましたが、テキストの内容に関することで、学生にとって興味深いと思われることや普段の日本語教育の現場での日本語に関することなどを毎回パワーポイントを使って示しました。さらに、授業にメリハリをつけるために、毎回、個人、あるいはグループで学生に考えさせる問題をいくつか提示し、答えさせました。						

(2) 学修の評価

到達目標	自分の母語である日本語が多少客観的に見られるようになる。
成績評価の方法	毎回の小テストとレポートの提出で評価するか あるいは、期末テストを実施するか初日のオリエンテーションで伝える。

(3) 授業の進行

概要：		
回	学習内容	授業方法（講義、グループワーク、プレゼンなど）
1	オリエンテーション 日本語を客観的に見ると	講義 レポート提出（言語、方言などについて）

2	日本語教育の現状と歴史 第1章 言語としての日本語	考えさせる質問を交えながらの講義
3	第1章 言語としての日本語	小テスト 考えさせる質問を交えながらの講義
4	第2章 日本語の音声	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
5	第2章 日本語の音声	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
6	第3章 日本語の文法	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
7	第3章 日本語の文法	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
8	第3章 日本語の文法	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
9	第3章 日本語の文法	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
10	第4章 日本語の文字表記	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
11	第4章 日本語の文字表記	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
12	第4章 日本語の文字表記	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
13	第5章 日本語の語彙	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
14	第5章 日本語の語彙 第6章 社会言語学	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義
15	まとめ	小テスト テストのフィードバック 考えさせる質問を交えながらの講義

(4) 授業の成果

全体の総括	教養科目を担当るのは初めてということで、試行錯誤の連続でした。『新はじめての日本語教育1』という日本語教師を目指す人のために書かれたテキストが教養教育のテキストとして適しているのかどうかも不安でした。結果としては、日本語を外国語として客観的に見ることに重点を置きながら進めると十分使えることがわかりました。全授業でパワーポイントを使いましたが、その使う量は回を追うごとに増えました。パワーポイントに注目させながら授業を進めるほうが、学生が授業に集中すると感じたからです。
今後の改善点	毎回、学生に個人で、あるいはグループで考えさせる問題をいくつか提示しましたが、学生の反応がいいものと、悪いものがありました。学生の反応がよかったものは、問題の難易度が中程度のもの、考えやすいもの、興味深いものだったと思われます。次回に向けて、出した問題を一つ一つ振り返って、「食いつきのいい」問題とはどういうものかということについて考える必要があります。

最後の授業が終わったあと、3人ぐらいの学生が個人的に話しに来ました。そして、そのうちの一人は将来日本語教師を目指してみたいというようなことを言いました。一人でも、将来の仕事として日本語教育について興味を持ってくれたことはうれしかったです。

(5) アクティブ・ラーニングの充実に向けた提案

ポイント提案	パワーポイントやビデオを使う、作業をさせる、講義を聞く、出された問題について考えるなどと、授業にメリハリを持たせることが大切だと思います。
参考になる資料	